

基本目標9 こどもの健やかな成長を見守り育む地域づくり

1. こどもの事故防止対策の推進（計画ページ123）

事業・取組	内容	指標				担当課名
		項目	現状値	R7 実績値	R11 目標値	
①安全計画の策定	保育園や学童保育、児童館、学校等の施設において、安全計画の策定及び計画に基づく取組等の実施によりこどもの安全確保を図ります。	安全計画の策定及び計画に基づく取組等の実施率	100% (R5 実績)	100%	100%	子育て総務課 保育課 学校教育課
②事故防止に関する冊子・パンフレットの配布	こんにちは赤ちゃん訪問や乳幼児健診時に事故防止に関する冊子やパンフレットの配布を行い、こどもの事故予防を図ります。	・こんにちは赤ちゃん訪問時の救急ガイドブックの配布 ・乳幼児健診事故防止パンフレットの配布	100% (R5 実績)	100%	100%	こども家庭センター
③事故防止対策の推進	浴室のドアに、こどもが一人で開けることができないような工夫がされている家庭の割合を把握します。	1歳6か月児健康診査時に家庭で浴室のドアに、こどもが一人で開けることができないような工夫がされている家庭の割合	63.2% (R5 実績)	70.0%	増加	こども家庭センター

2. 小児医療・感染症対策の充実（計画ページ124～125）

事業・取組	内容	指標				担当課名
		項目	現状値	R7 実績値	R11 目標値	
①初期救急・二次救急の充実	通常では医療機関にかかりにくい休日や夜間の時間帯に、急な病気や怪我でも安心して受けられる救急医療体制を継続的に確保します。	初期救急及び小児二次救急医療体制の維持	・栃木地区急患センター小児患者：1,719人 ・小児二次救急医療（獨協医科大学病院）小児患者：1,658人 (R5 実績)	・栃木地区急患センター小児患者：1,396人 ・小児二次救急医療（獨協医科大学病院）小児患者：1,173人	医療体制の維持	健康増進課
②小児救急電話の普及	小児救急電話相談（＃8000）を知っている親の割合を把握します。	小児救急電話相談を知っている親の割合	93.7% (R5 実績)	93.9%	増加	こども家庭センター
	小児救急電話相談（＃8000）の普及啓発を行い、救急車の適正利用を推進します。	広報とちぎへの掲載回数	12回 (R5 実績)	12回	12回	健康増進課

事業・取組	内容	指標				担当課名
		項目	現状値	R7 実績値	R11 目標値	
③かかりつけ医の普及・定着	こどものかかりつけ医を持つ親の割合を把握します。	こどものかかりつけ医を持つ親の割合	90.0% (R5 実績)	90.9% (3 歳児健診)	増加	こども家庭センター
	こどものかかりつけ歯科医を持つ親の割合を把握します。	こどものかかりつけ歯科医を持つ親の割合	44.4% (R5 実績)	66.1% (3 歳児健診)	増加	
④予防接種の推進	①適切な時期に必要な予防接種が受けられるよう、啓発と未接種者への勧奨を行い、接種率の向上に努めます。 ②1 歳 6 か月児健康診査時に五種混合、麻しん・風しんの予防接種状況を確認します。	予防接種率 ①五種混合(初回3 回) ②麻しん・風しん I 期	①109.4% ②95.8% (R5 実績)	①104.5% ②102.0%	①100% ②100%	健康増進課